

2012年10月23日
住友化学株式会社

アフリカ支援で第19回「読売国際協力賞」を受賞

住友化学は、このたび、第19回「読売国際協力賞」を受賞することとなりました。

「読売国際協力賞」は、1994年に読売新聞創刊120年を記念して創設された、国際協力の分野で活躍し国際社会への貢献と協力の重要性を示した個人・団体・企業に贈られる賞で、今年で19回目を迎えました。

今回の受賞は、合成樹脂と防虫剤の技術を融合させて住友化学が独自に開発した防虫蚊帳「オリセツト®ネット」の生産・販売を通じたマラリアの防圧への取り組みが評価されたものです。贈賞式は、10月30日に都内で行われる予定です。

マラリアは、年間約2億人が罹患し、約65万もの人々の命が奪われている世界三大感染症の一つで、犠牲者の多くはアフリカの子供たちです。「オリセツト®ネット」は、練り込まれた防虫剤が蚊帳の表面に徐々に染み出し、繰り返し洗濯しても効果が5年以上持続する点が特長で、経済的かつ効果的にマラリアを媒介する蚊から身を守ることができます。2001年には、世界保健機関（WHO）により、世界で初めて長期残効蚊帳としての効果が認められ、使用が推奨されています。

量産体制を整えるにあたり、住友化学は、2003年、タンザニアの企業に「オリセツト®ネット」の製造技術が無償で供与し、2007年には、同企業と合弁会社を設立、新工場を稼働させました。この事業を通じて、タンザニアでは最大で約7,000人の雇用が生まれており、地域経済の活性化にも貢献しています。

また、住友化学は、「オリセツト®ネット」の売上の一部を活用して、タンザニアやケニアをはじめとするアフリカ諸国で学校建設を行うなど、次世代を担う子どもたちの教育支援につなげています。当社は、今回の「読売国際協力賞」受賞にともなう正賞（30万円相当の記念品）および副賞（現金500万円）全てを、そうした教育支援の取り組みのために寄付いたします。

住友化学は、引き続き「オリセツト®ネット」事業を通じたアフリカ支援に積極的に取り組んでまいります。

以 上